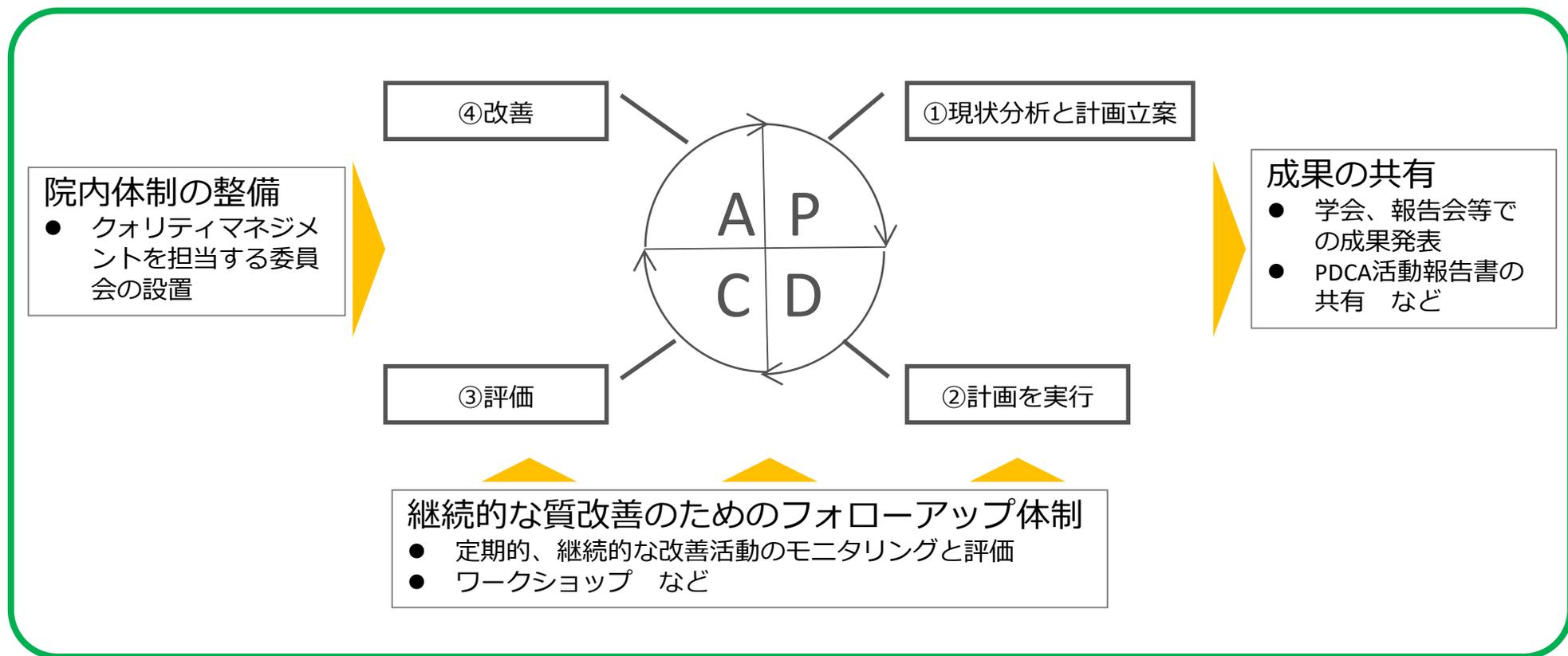


## ◆ 参考モデル（1）

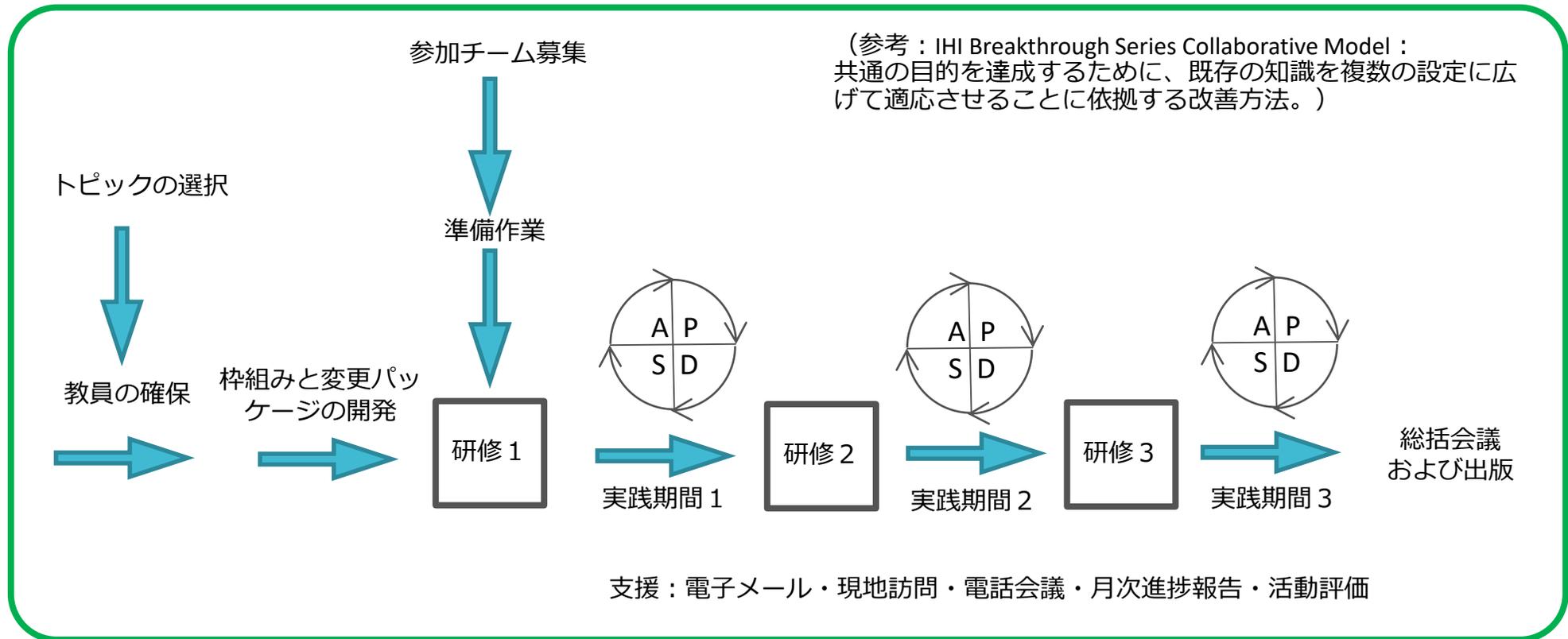
- 臨床指標を活用した改善活動の共有・普及の方法として、国内ですでに実践されている「臨床評価指標を用いたPDCAサイクルに基づく医療の質の改善事業」を参考に検討してはどうか。



# 具体的な取組の共有・普及②

## ◆ 参考モデル（２）

- 臨床指標を活用した改善活動の共有・普及の方法として、「質改善方法を習得する研修会」と「個々の施設での改善活動の実践と共有」を組み合わせた活動を検討してはどうか。
- 具体案として、諸外国で実施されている「質改善コラボレイティブ (Quality Improvement Collaborative) 等を参考に、わが国に適した手法を検討してはどうか。



# 中核人材のあり方

## ◆ 参考モデル（3）

- QI活用プロジェクトの研修会で対応する研修範囲は、米国「認定医療の質専門家」プログラムの範囲におおむね重なると考えてよいのではないか。
- 実務者が習得すべき知識・スキルは研修会で対応し、経営戦略的な高度な内容については、別途セミナーを企画してはどうか。

米国「認定医療の質専門家 (Certified Professional in Healthcare Quality; CPHQ)」プログラムの内容

### 1. 組織的リーダーシップ

- A. 構造と統合 (13)
- B. 規制、認定および外部承認 (5)
- C. 教育、研修、コミュニケーション (5)

### 2. 医療データ分析

- A. 設計とデータ管理 (6)
- B. 測定および分析 (7)

### 3. 業績とプロセスの改善

- A. 改善機会の特定 (5)
- B. 実装と評価 (6)

### 4. 患者安全

- A. アセスメントと計画 (3)
- B. 実装と評価 (4)

- 「1A.構造と統合」の細目には、経営戦略などに関する高度な内容も含まれており、実務者の日常業務の範囲を超えているように思われる。  
そこで、経営戦略と医療の質の関係などについて管理者・幹部・実務者等、広く意識改革を図るセミナーを、別途企画してはどうか。

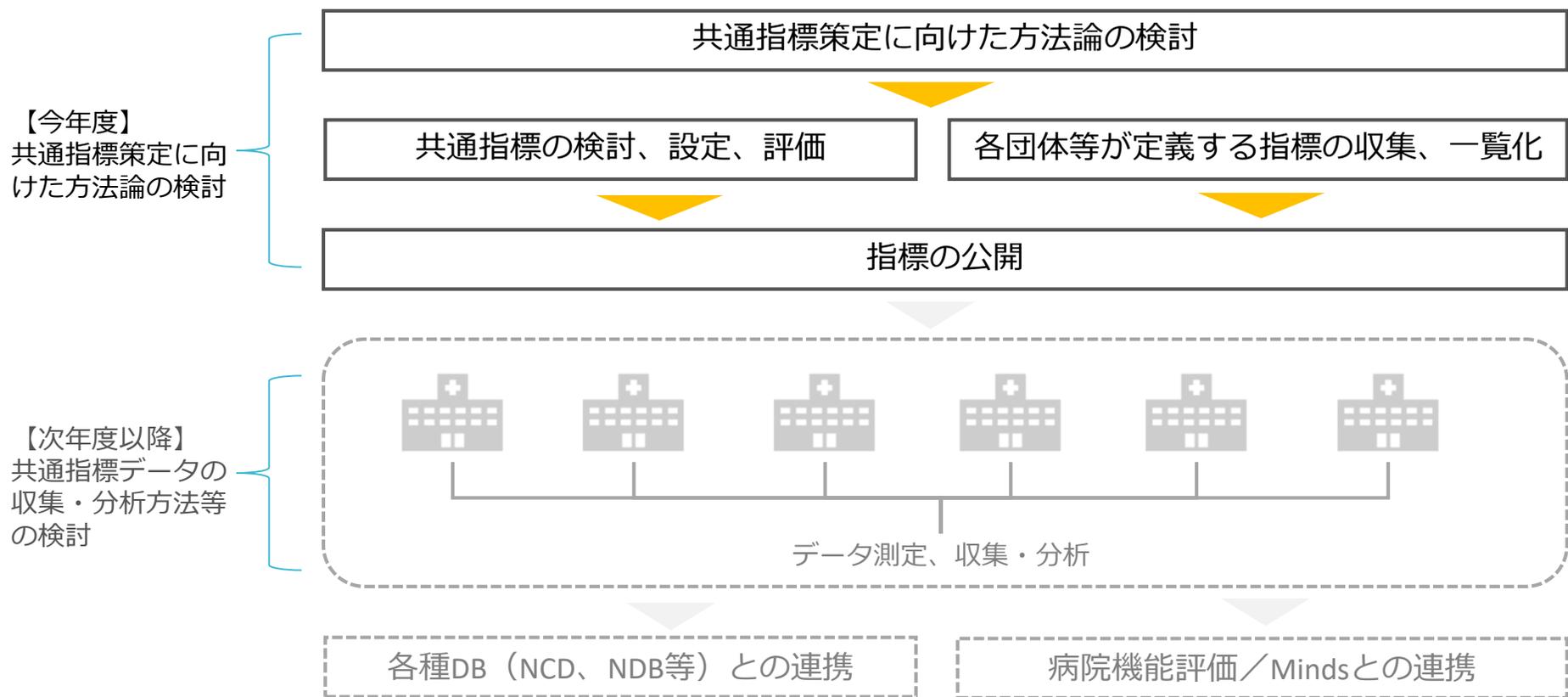
- QI活用プロジェクトの研修会で対応してはどうか。

- 「患者安全指標」の評価・分析等の観点から取り扱うこととしてはどうか。

# 臨床指標の標準化のあり方①

## ◆検討の進め方について

- 今年度は、共通指標策定に向けた方法論の検討と、共通指標の検討及び各団体が定義する指標の一覧化を行い、次年度以降に、共通指標データの収集方法を検討してはどうか。
- 並行して、患者代表などを含むワーキンググループを設置して、公表のあり方を検討してはどうか。



# 臨床指標の標準化のあり方②

## ◆標準化に向けた方法論の検討について

- OECDの医療の質指標プロジェクト (Health Care Quality Indicators (HCQI) project) で用いられている概念枠組み等を参考に、わが国に適した枠組みを検討してはどうか。

